

[49 番の歌](#) 日々エホバに喜んでいただく

援助奉仕者として奉仕することを目標にできますか

「[受けるより与える方が幸福である](#)」。 [使徒 20:35](#)

ポイント：バプテスマを受けた兄弟たちは、どうすれば援助奉仕者になりたいという気持ちを強め、その資格を満たせるでしょうか。

1. 使徒パウロは援助奉仕者たちのことをどう思っていましたか。

援助奉仕者は会衆でとても大切な役割を果たしています。使徒パウロはそうした忠実な兄弟たちに心から感謝していました。フィリピのクリスチャンに宛てた手紙の中で、パウロは長老たちだけでなく援助奉仕者たちにもあいさつを送っています。（[フィリ 1:1](#) キリスト・イエスの奴隷であるパウロとテモテから、フィリピにいる、キリスト・イエスと結ばれた聖なる人たち全て、また監督たちと援助奉仕者(*)たちへ。）

2. ルイス兄弟は援助奉仕者として働けることをどう感じていますか。

2 年齢に関係なく、多くの兄弟たちが援助奉仕者として会衆のために働くことから大きな喜びを味わっています。デバン兄弟は援助奉仕者に任命された時、18歳でした。一方、ルイス兄弟は50代前半で任命されました。ルイス兄弟はこう言っています。「援助奉仕者として働くことができ本当にうれしいです。会衆のみんながこれまで示してくれた愛について考えると、特にそう感じます」。大勢の兄弟たちが同じように感じています。

3. これからどんな点について考えますか。

3 あなたはバプテスマを受けた兄弟ですか。そうであれば、援助奉仕者として奉仕することを目標にできますか。どうすればそうしたいという気持ちを強められるでしょうか。聖書によると、どんな資格を満たす必要があるでしょうか。この記事ではこうした点を考えます。でも、まず援助奉仕者の役割にはどんなものがあるかを考えましょう。

援助奉仕者にはどんな役割があるか

4. 援助奉仕者にはどんな役割がありますか。（写真も参照。）

4 援助奉仕者は聖なる力によって選ばれた兄弟で、会衆の長老を助けるために大切な仕事をたくさんしています。奉仕のために十分な区域や出版物があるように見届けたり、王国会館の清掃やメンテナンスを助けたりする人もいます。集会の時に案内係を担当したり、オーディオ・ビデオ機器の操作をしたりします。このように、援助奉仕者がする仕事の多くは実務的なものです。でも

援助奉仕者にとって一番重要なのは、仕事ができることではなくエホバとの絆を大切にしていることです。エホバを愛し、エホバの正しい基準に従って生きる人でなければなりません。仲間の兄弟姉妹を心から愛していることも大切です。（[マタ 22:37-39](#) イエスは言った。「『あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならない』。38 これが最も重要な第一のおきてです。39 第二も同様で、こうです。『あなたは隣人を自分自身のように愛さなければならない』）では、兄弟たちは援助奉仕者として奉仕することを目指してどんなことができるでしょうか。



援助奉仕者たちはイエスに倣い、自分を与えてほかの人たちに仕えている。（4 節を参照。）

5. 兄弟たちは援助奉仕者になることを目指して何ができますか。

5 聖書には援助奉仕者として奉仕するためにどんな資格を満たす必要があるかが書かれています。（[テモ一 3:8-10](#) 援助奉仕者(*)も、真面目で、二枚舌を使わず(*人をだますようなことを言わず)、多量の酒を飲まず、食欲に不当な利益を得ようとせず、9 やましいところのない良心を保って、神聖な秘密である信仰の道をしっかり歩んでいるべきです。10 この人たちは、その仕事にふさわしいかどうか(*資格があるかどうか)、まず試されなければなりません。非難されるところがなければ、奉仕者として仕えさせることができます。12, 13 援助奉仕者は、1 人の妻の夫で、子供を従わせ、家庭を立派に治めているべきです。13 立派に奉仕する人は良い評価を得、キリスト・イエスへの信仰について少しも気後れせずに語ることができます。）こうした点についてよく調べ、自分に当てはめるよう努力するなら、目標を達成することができます。でも、まずは自分の動機を考えることが大切です。

なりたいと思うのはどうしてか

6. 兄弟姉妹を助ける時にはどんな気持ちからそうすることが大切ですか。（[マタイ 20:28](#)。挿絵も参照。）

6 私たちにとって一番の手本であるイエス・キリストは、どんな時もお父さんエホバや人々への愛の気持ちから行動していました。だからこそ、一生懸命に働き、立場の低い人がするような仕事も進んで行いました。（[マタイ 20:28](#) 人の子も、仕えてもらうためではなく仕えるために、また多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与えるために来ました。を読む。[ヨハ 13:5](#) それから、たらいに水を入れて弟子たちの足を洗い、腰にくくった布で拭き始めた。14, 15 それで、主であり先生である私があなたたちの足を洗ったのであれば、あなたたちも足を洗い合うべきです。15 私はあなたたちのために模範を示しました。あなたたちも同じようにするためです。）エホバは、あなたが愛の気持ちから行動するなら喜んでくれます。そして、援助奉仕者になるという目

標を達成できるように助けてくれます。(コリ一 16:14 何をするにも、愛を抱いて行ってください。ペテ一 5:5 同じように、若い皆さん、年長の人(*長老)たちに従ってください。そして皆が、人と接する上で謙遜さ(*自分を低く見る考え方)を身に付けてください。神は傲慢な人に敵対し、謙遜な人に惜しみない親切を示してくださるからです。)



目立った立場を求めるのではなく謙虚な態度で他の人に仕える大切さを、イエスは手本によって使徒たちに教えた。(6 節参照)

7. 兄弟たちが誇りや野心を持つべきではないのはどうしてですか。

7 世の中では、自分を売り込む人が評価されることがよくあります。でも、エホバに仕える人たちの間ではそういうことはありません。イエスのように愛の気持ちから行動する人は、人の上に立とうとしたり、自分を重要な人物と見てもらおうとしたりはしません。もしそのような野心を持った人が会衆の中で責任を与えられたとしたら、どうなるでしょうか。エホバの大切な羊を世話するための目立たない仕事はしようとしまいでしょう。「そういう仕事はほかの誰かがやればいい」と考えるかもしれません。(ヨハ 10:12 雇われ人は、羊飼いで羊の所有者でもないのです、オオカミが来るのを見ると、羊を見捨てて逃げます。(オオカミは羊を襲い、散らします。)) 誇りや野心の気持ちから努力を払うとしても、エホバがそれを喜ぶことはありません。(コリ一 10:24 各自、自分のためになることではなく、人のためになることをいつも優先しましょう、33 私も、自分ではなく多くの人のためになることを優先し、全てのことにして全ての人を喜ばせるようにしています。多くの人々が救われてほしいからです。; 13:4, 5 愛は辛抱強く、親切です。愛は嫉妬しません。愛は自慢せず、思い上がりせず、下品な振る舞いをせず、自分のことばかり考えず、いら立ちません。愛は傷つけられても根に持ちません。)

8. イエスは使徒たちにどんなことを教えましたか。

8 イエスの親しい使徒たちでさえ、間違った動機で特別な立場を求めてしまったことがありました。ヤコブとヨハネのことを考えてみましょう。2人は王国で高い地位を与えてくれるようにとイエスにお願いしました。でも、イエスはそのことで2人を褒めるのではなく、12使徒全員にこう言いました。「偉くなりたい人は奉仕者でなければならず、1番でありたい人は皆の奴隷でなければなりません」。(マル 10:35-37 ゼベダイの息子であるヤコブとヨハネが近づいてきて、言

った。「先生、ぜひともお願いしたいことがあるのですが」。36 イエスは言った。「何をしてほしいのですか」。37 2人は言った。「栄光をお受けになる時、私たちの1人をあなたの右に、1人を左に座らせてください」, 43, 44 あなたたちの間ではそうであってはなりません。偉くなり
たい人は奉仕者でなければならず、44 1番でありたい人は皆の奴隷でなければなりません。) **ほかの人に仕える、という正しい動機で働く兄弟たち**は、会衆の**みんなに喜ばれ**ます。(テサ一 2:8
私たちは優しい愛情を抱き、皆さんに神の良い知らせを伝えるだけでなく**自分たち自身を与えたい**と思いました。皆さんを深く愛するようになったからです。)

どうすれば意欲を高められるか

9. 意欲を高めるためにどんなことができますか。

9 エホバを愛し、**仲間に仕えたい**とは思っているものの、**援助奉仕者が行う仕事をしたいとまではなかなか思えない**かもしれません。そういう場合、**意欲を高めるためにどんなことができる**でしょうか。**兄弟姉妹のために奉仕**することから**どんな喜び**を味わえるかを考えてみましょう。イエスは「**受けるより与える方が幸福である**」と言いました。(使徒 20:35 私は、このように真面目に働いて、弱い人たちを援助しなければならないこと、また、主イエス自身が述べた『**受けるより与える方が幸福である**』という言葉覚えておかなければならないことを、あらゆる点で皆さんに示しました) **イエス自身**、この教えの通りにして**他の人に仕える**ことから**本当の喜びを**味わいました。**あなたも**きっとそれを**経験できる**でしょう。

10. どんな例から、イエスがほかの人に仕えることから幸福感を味わっていたことが分かりますか。 (マルコ 6:31-34)

10 イエスが**ほかの人に仕える**ことから**幸福感を味わっていた**ことが分かる、**1つの例**を考えましょう。(マルコ 6:31-34 イエスは言った。「さあ、一緒に静かな場所に行って、少し休みなさい」。出入りする人が多く、食事をする暇もなかったからである。32 それで一行は舟に乗り、自分たちだけになれる**静かな場所**に向かった。33 ところが、それは見られていて、**多くの人に知れ渡った**。それで全ての町から人々が走っていき、舟より先に着いた。34 イエスは舟を下り、大勢の人を見て、かわいそうに思った。羊飼いのいない羊のようだったからである。そして、**多くのことを教え始めた**。を読む。) ある時、**イエスと使徒たちはとても疲れ**ていたので、静かな場所に行き、**少し休もう**としていました。でも、**多くの人**がイエスに教えてもらいたいと思って**先回り**していました。この時イエスは**断ることも**できました。イエスや弟子たちは「食事をする暇もなかった」からです。**1つか2つのことを教えて、人々を去らせることも**できました。でも、イエスは**愛に動**かされて「**多くのことを教え始め**」, 「**午後の遅い時間**」までそうしました。(マル 6:35 午後の遅い時間になっていた。弟子たちがイエスのもとに来て、言った。「ここは辺りな場所、もう遅い時間です。’) イエスがそうしたのは**義務感からでは**ありません。**人々を愛**していて「**かわいそうに思**った」ので、**ぜひ教えてあげたい**と思ったのです。イエスは**ほかの人に仕えること**から**大きな喜びを**味わっていました。

11. イエスは、人々を助けるためにどんなことをしましたか。 (挿絵と写真も参照。)

11 この時イエスは、人々を教えただけではなく、人々が実際に必要としている物を与えることもしました。奇跡によって食べ物を用意し、それを弟子たちに配らせました。（マル 6:41 イエスは5つのパンと2匹の魚を取り、天を見上げて祈ってから、パンを割って弟子たちに渡し始めた。人々に配らせるためである。また、2匹の魚を皆のために分けた。）このようにして、どうすれば他の人に仕えられるかを弟子たちに教えました。また、今では援助奉仕者が行っているようなさまざまな仕事がとても大切であることも教えました。使徒たちがイエスの奇跡によって食べ物を「皆が食べて満足」するまで分配して、どれほどの喜びを味わったかを考えてみてください。（マル 6:42 こうして皆が食べて満足した。）イエスが自分のことよりも他の人のことを優先したのはこの時だけではなく、地上にいた間ずっとそうしました。（マタ 4:23 イエスはガリラヤ中を巡り、会堂で教え、王国の良い知らせを伝え、民のあらゆる病気や不調を治した。8:16 夕方になってから、人々は邪悪な天使に取りつかれた人を大勢連れてきた。イエスは邪悪な天使たちを言葉で追い出し、病気に苦しむ人全てを治した。）イエスは他の人を教えることや他の人のために働くことから、喜びや満足感を味わっていました。あなたも援助奉仕者として働くために進んで自分を差し出すなら、たくさんの喜びを経験できるでしょう。



エホバへの愛や、仲間に仕えたいという気持ちがあるなら、兄弟姉妹のためにできることを何でも行おうとする。

（11 節を参照）*写真や挿絵: 左: イエスが人々に謙虚な態度で仕えている。右: 援助奉仕者が会衆の年配の兄弟を助けている。

12. 誰にでも会衆のためにできることがある、といえるのはどうしてですか。

12 自分には大した才能はないと感じるとしても、がっかりしないでください。全ての人に、会衆の仲間を助けるのに役立てられる良いところがあります。コリント第一 12 章 12-30 節 体は1つでも、多くの器官で構成されています。また、体の器官は多くても、全てが1つの体を構成しています。キリストも同様です。13 私たちは皆、ユダヤ人であれギリシャ人であれ、奴隷であれ自由民であれ、1つの聖なる力によってバプテスマを受けて1つの体になり、1つの聖なる力を飲んだからです。14 体は確かに、1つの器官ではなく多くの器官で構成されています。15 もし足が、「私は手ではないから、体の一部ではない」と言ったとしても、体の一部でないことにはなりません。16 また、もし耳が、「私は目ではないから、体の一部ではない」と言ったとしても、体の一部でないことにはなりません。17 もし全身が目だとしたら、どこで聞くのですか。もし全身が耳だとしたら、どこでおいを嗅ぐのですか。18 神は望みのままに体の各器官を配置したのです。19 もし全てが同じ1つの器官だとしたら、体は成り立つでしょうか。20 実際には多くの器官があ

り、それでも体は1つです。21 目は手に、「私にあなたは必要ない」とは言えず、頭も足に、「私にあなたは必要ない」とは言えません。22 それどころか、ほかより弱く見える器官がかえって必要なのです。23 また私たちは、ほかより貴くないと思える部分を、いっそう貴重なものと見なします(*として覆います)。私たちの見栄えのしない部分がいっそう大事にされるためです。24 一方、見栄えのする部分は何も必要としません。とはいえ、神がそのように体を造り上げた(d*混ぜ合わせた)のであり、貴くないとされる部分を神はいっそう貴重なものと見ています。25 体に分裂がないようにし、各器官が気遣い合うようにするためです。26 1つの器官が苦しめば、ほかの器官全てが一緒に苦しみ、1つの器官が称賛されれば、ほかの器官全てが一緒に喜ぶのです。27 皆さんはキリストの体であり、一人一人が器官です。28 そして神は会衆内の人たちにそれぞれの役割を与えました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教える人、次いで奇跡を行う人、次いで癒やす能力を持つ人、人々を世話する(*役立つ仕事を行う)人、指揮する能力がある人、さまざまな言語を話す人です。29 皆が使徒ではないでしょう。皆が預言者ではないでしょう。皆が教える人ではないでしょう。皆が奇跡を行うわけではないでしょう。30 皆が癒やす能力を持つわけではないでしょう。皆がさまざまな言語を話すわけではないでしょう。皆が通訳者ではないでしょう。にあるパウロの言葉を読んで、祈りながらじっくり考えてみることも助けになります。この聖句から分かる通り、エホバに仕える人たちみんなに会衆の中で大切な役割があります。今はまだ援助奉仕者の資格を満たしていないとしても諦めないでください。エホバや仲間の役に立つと思うことであれば、何でもやってみましょう。長老たちはあなたの良いところに目を留めて、会衆でどんな仕事を任せられるか考えてくれるでしょう。(ロマ 12:4-8)1つの体には多くの器官がありますが、全ての器官が同じ機能を持つわけではありません。同じように、5 私たちも人数は多いものの、キリストと結ばれた1つの体であり、一人一人は器官として互いを必要としています。6 それで私たちは、示していただいた惜しみない親切によって、それぞれ違う能力(*贈り物)を持っているのですから、それが預言であれば、自分の信仰に応じて預言しましょう。7 それが奉仕であれば、奉仕しましょう。教える人は教え、8 励ます人は励まし、分け与える人は惜しまずに与え、監督する人は勤勉に(*真剣に)監督し、憐れみを示す人は快く示しましょう。)

13. 援助奉仕者としての資格を満たすことが難し過ぎるわけではないといえるのはどうしてですか。

13 援助奉仕者を目指すのは自分には難し過ぎると感じているなら、次の点も考えてみましょう。援助奉仕者になる上で求められていることは、全てのクリスチャンが努力すべき点でもあります。例えば、エホバとの絆を強めること、喜んで自分を与えること、エホバに喜ばれる生き方をすることなどです。では、兄弟たちは援助奉仕者になることを目指して、具体的にどんなことに取り組めるでしょうか。

どんなことに取り組めるか

14. 「真面目で[ある]」とはどういうことですか。(テモテ第一 3:8-10, 12)

14 テモテ第一 3 章 8-10 援助奉仕者(*)も、真面目で、二枚舌を使わず(*人をだますようなことを言わず)、多量の酒を飲まず、食欲に不当な利益を得ようとせず、9 やましいところのない良心を保って、神聖な秘密である信仰の道をしっかりと歩んでいるべきです。10 この人たちは、その仕事に

ふさわしいかどうか(*資格があるかどうか), まず試されなければなりません。非難されるところがなければ, 奉仕者として仕えさせることができます, [12 節](#)援助奉仕者は, 1 人の妻の夫で, 子供を従わせ, 家庭を立派に治めているべきです。に挙げられている資格を考えてみましょう。(読む。) 援助奉仕者は「[真面目である](#)」必要があります。この表現は, 「[尊敬に値する](#)」, 「[威厳がある](#)」, 「[良い評判を得ている](#)」と訳すこともできます。だからといって, [笑ったり楽しい時間を過ごしたりできない](#)ということではありません。([伝 3:1](#) 何事にも時がある。この地上の全ての活動には時がある, [4](#) 泣くのに時があり, [笑うのに時がある](#)。泣き叫ぶのに時があり, 踊るのに時がある。) [任された責任をきちんと果たす必要がある](#)ということです。そうするなら, 会衆のみんなから [信頼され, 敬意を得](#)ることができるでしょう。

15. 「[二枚舌を使わない](#)」ことや, 「[食欲に不当な利益を得ようとしない](#)」ことには何の関係していますか。

15 「[二枚舌を使わない](#)」とは, [誠実で, 正直で, 信頼される人になる](#)ということです。 [約束を守り, 人をだましたりしません](#)。([格 3:32](#) エホバは, 欺く人をひどく嫌い, 正直な人たちを親しい友とするからである。) 「[食欲に不当な利益を得ようとしない](#)」とは, [仕事やお金に関しても正直](#)であるということです。 [仲間のクリスチャンのつながりを利用してお金を稼ぐ](#)ようなことは [しません](#)。

16. (ア) 「[多量の酒を飲まない](#)」とはどういう意味ですか。(イ) 「[やましいところのない良心を保つ](#)」とはどういう意味ですか。

16 「[多量の酒を飲まない](#)」とは, [アルコールを大量に飲んだり, 大酒飲みとして知られたり](#)することが [あってはならない](#)ということです。「[やましいところのない良心を保つ](#)」とは, [エホバの基準に合わせた生き方をする](#)ということです。 [完璧にそうすることはできないとしても, エホバとの強い関係があるなら, 穏やかな気持ち](#)でいることができます。

17. 「[その仕事にふさわしいかどうか.....試される](#)」ことには何の関係していますか。([テモテ第一 3:10](#)。写真も参照。)

17 「[その仕事にふさわしいかどうか.....試される](#)」必要もあります。つまり, [与えられた責任をしっかりと果たし, 信頼できる人であることを証明](#)することが必要です。それで, [会衆の仕事やプログラムを割り当てられたなら, 長老たちの指示や組織から与えられるガイドラインに注意深く従いましょう](#)。 [何を必要](#)があるかや, [いつまでに終わらせなければいけないか](#)をきちんと理解しておくことは大切です。 [それぞれの割り当てを真剣に果たしていくなら, 会衆の人たちはあなたがクリスチャンとして成長していることに気付く](#)ことでしょう。 [長老の皆さん, バプテスマを受けた兄弟たちを訓練](#)するのは [大切な仕事](#)です。([テモテ第一 3:10](#) この人たちは, その仕事にふさわしいかどうか(*資格があるかどうか), まず試されなければなりません。非難されるところがなければ, 奉仕者として仕えさせることができます。を読む。) 会衆には [10 代前半かそれより若い兄弟たち](#)がいますか。その兄弟たちは, [個人研究の良い習慣](#)を持っているでしょうか。 [集会でよくコメントをし, 定期的に伝道に参加](#)しているでしょうか。もしそうなら, [年齢や状況に合った責任や仕事を委ねる](#)ようにしましょう。そのようにして, 若い兄弟たちは「その仕事にふ

さわしいかどうか.....試され[る]」 ことになります。このように訓練された兄弟たちは、10 代後半になるまでに援助奉仕者としての資格を満たすことができるでしょう。



兄弟たちに仕事を委ねるなら、長老たちは「ふさわしいかどうか」を試すことができる。(17 節を参照。)

18. 「非難されるところがない」とはどういう意味ですか。

18 「非難されるところがない」とは、重大な間違いを犯したという非難を受けないようにする、ということです。もちろんクリスチャンも、うその非難を受けることはあります。イエスもそうした経験をしましたし、弟子たちも同じ目に遭うと予告していました。(ヨハ 15:20 奴隷は主人より偉くない、という私の言葉を覚えておきなさい。世の人々が私を迫害したのであれば、あなたたちをも迫害します。私の言葉を守ったのであれば、あなたたちの言葉も守ります。) でも、イエスのようにいつも正しいことを行っているなら、会衆で良い評判を得ることができます。(マタ 11:19 人の子が来て食べたり飲んだりすると、『見ろ、大食いで、大酒飲みの男、徴税人や罪人たちの仲間だ』と言います。しかし、知恵は行動によって明らかになります。)

19. 「1 人の妻の夫である」 ことには何が関係していますか。

19 「1 人の妻の夫である」。エホバが定めた結婚に関する基準にしっかり従うことも大切です。エホバは、結婚は 1 人の男性と 1 人の女性の間にある絆であることを教えています。(マタ 19:3-9 パリサイ派の人たちが来て、イエスを試そうとして、こう尋ねた。「どんな理由でも、妻を離婚してよいのでしょうか」。4 イエスは答えた。「あなた方は読まなかったのですか。人間を創造した方は、初めから男性と女性に造り、5 『それで、男は父と母から離れて妻にしっかり付き、2 人は一体となる』と言いました。6 それで、2 人はもはや別々ではなく、一体です。ですから、神が結び合わせた(d*くびきでつないだ)ものを、人が離してはなりません」。7 パリサイ派の人たちは言った。「では、なぜモーセは、妻を離婚するなら離婚証書を与えるように、と指示したのですか」。8 イエスは言った。「モーセはあなた方の頑固さを考えて、妻との離婚に関して譲歩したのです。初めからそうになっていたわけではありません。9 あなた方に言いますが、性的不道徳以外の理由で妻を離婚して別の女性と結婚する人は、姦淫をすることになります。)

それで、クリスチャンの男性が性的に不道徳なことを行うようなことが決してあってはなりません

。(ヘブ 13:4 結婚は全ての人に尊ばれるべきであり、夫婦の関係は汚れないものであるべきです。神は性的に不道德な人(*)や姦淫をする人を断罪するからです。) 自分の妻だけを心から愛し、ほかの女性に不適切な関心を向けるようなことは決してしません。(ヨブ 31:1 私は自分の目と契約を結んだ。だから若い女性に対して不適切な関心を向けることなどできない。)

20. どうすれば家庭を「立派に」治めることができますか。

20 「子供を従わせ、家庭を立派に治めている」。家族の頭は自分の責任を真剣に果たす必要があります。家族の崇拜を毎週行い、妻や子供たちと一緒にできる限り奉仕に参加しましょう。子供たちがエホバとの絆を強められるように助けてください。(エフェ 6:4 父親は、子供をいら立たせないようにし、エホバ(*)が望む指導と助言(*エホバの考えを入れること)によって育ててください。)

家族をしっかりと世話することができている人は、会衆の人たちを助けることもできるでしょう。(テモテ第一 3:5 (自分の家庭を治められないのであれば、神の会衆(*)を世話することなどできるでしょうか。))と比較。)

21. どんなことを真剣に考えるとよいですか。

21 まだ援助奉仕者として奉仕していないなら、この記事の内容についてよく考え、エホバに祈ってください。援助奉仕者になるためにどんな資格を満たす必要があるかを調べ、それに一生懸命取り組みましょう。「自分はエホバや兄弟姉妹のことをどれほど愛しているだろうか」と考えてみてください。そして、エホバや仲間に仕えたいという気持ちを深めましょう。(ペテ 4:8 何よりも、熱烈に愛し合ってください。愛は多くの罪を覆う(*愛があれば多くの罪を許せる)からです、10 神の惜しみない親切はさまざまな形で表されます。一人一人に能力(*贈り物)が与えられているのですから、神から親切を示された立派な管理人として、その能力を生かして仕え合ってください。)

仲間のために働く喜びをぜひ味わってください。援助奉仕者を目指して頑張るあなたのことをエホバが豊かに報いてくださいますように。(7/1 2:13 神はご自分の望みを実現させるために皆さんを力づけてくださいます。行動するための意欲と力の両方を与えてくださるのです)

次の聖句からどんなことを学べますか

1. マタイ 20:28 (人の子も、仕えてもらうためではなく仕えるために、また多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与えるために来ました。)

・S06 目立った立場を求めるのではなく謙虚な態度で他の人に仕える大切さを、イエスは手本によって使徒たちに教えた。エホバは、私たちが愛の気持ちから行動するなら喜んでくださり、援助奉仕者になるという目標を達成できるように助けてくださる。

2. マルコ 6:31-34 (イエスは言った。「さあ、一緒に静かな場所に行って、少し休みなさい」。出入りする人が多く、食事をする暇もなかったからである。32 それで一行は舟に乗り、自分たちだけになれる静かな場所に向かった。33 ところが、それは見られていて、多くの人に知れ渡った。それで全ての町から人々が走っていき、舟より先に着いた。34 イエスは舟を下り、大勢の人を見て、かわいそうに思った。羊飼いのいない羊のようだったからである。そして、多くのことを教え始めた。)

・S11 イエスは他の人を教えることや他の人のために働くことから、喜びや満足感を味わっておられ。私達も援助奉仕者として働くために進んで自分を差し出すなら、たくさんの喜びを経験できる。

3. [テモテ第一 3:8-10, 12](#)(援助奉仕者(*)も、真面目で、二枚舌を使わず(*人をだますようなことを言わず)、多量の酒を飲まず、食欲に不当な利益を得ようとせず、9 やましいところのない良心を保って、神聖な秘密である信仰の道をしっかり歩んでいるべきです。10 この人たちは、その仕事にふさわしいかどうか(*資格があるかどうか)、まず試されなければなりません。非難されるところがなければ、奉仕者として仕えさせることができます、12 援助奉仕者は、1 人の妻の夫で、子供を従わせ、家庭を立派に治めているべきです。)

・S14 援助奉仕者は「真面目で[ある]」必要があるが、この表現は、「尊敬に値する」、「威厳がある」、「良い評判を得ている」と訳すこともできる。任された責任をきちんと果たすなら、会衆のみんなから信頼され、敬意を得ることができる。

[17 番の歌](#) 「そう望みます」

[△](#) 写真や挿絵: 左: イエスが人々に謙虚な態度で仕えている。右: 援助奉仕者が会衆の年配の兄弟を助けている。

[△ \(使徒 20:35\)](#) 私は、このように真面目に働いて、弱い人たちを援助しなければならないこと、また、主イエス自身が述べた『受けるより与える方が幸福である』という言葉覚えておかねばならないことを、あらゆる点で皆さんに示しました」。

[△ \(フィリ 1:1\)](#) キリスト・イエスの奴隷であるパウロとテモテから、フィリピにいる、キリスト・イエスと結ばれた聖なる人たち全て、また監督たちと援助奉仕者*たちへ。

用語集参照。

[△ \(マタ 22:37-39\)](#) イエスは言った。「『あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならない』。38 これが最も重要な第一のおきてです。39 第二も同様で、こうです。『あなたは隣人を自分自身のように愛さなければならない』。

[△ \(テモ一 3:8-10\)](#) 援助奉仕者*も、真面目で、二枚舌を使わず*、多量の酒を飲まず、食欲に不当な利益を得ようとせず、9 やましいところのない良心を保って、神聖な秘密である信仰の道をしっかり歩んでいるべきです。10 この人たちは、その仕事にふさわしいかどうか*、まず試されなければなりません。非難されるところがなければ、奉仕者として仕えさせることができます。

用語集参照。